

湯沢市参加・協働のまちづくり提案型補助金事業提案書①

団 体 名	特定非営利活動法人 おがち ふるさと学校	事業区分	ハード・ソフト	
事 業 名	” わくわく・ドキドキ” するまちづくり事業 ver. 5	継続事業	5 年目	
実 施 期 間	交付決定日 日から 令和 9 年 2 月 28 日まで			
補 助 対 象 経 費	500,000 円	補 助 金 申 請 額	400,000 円	
事業目的	課 題	(事業を計画するに至った課題とその原因はなにか) 新地区センター建設等検討委員会から引き継ぐかたちで「建設委員会」が設置され院内らしい事業を模索しながら施設機能等の協議がかさねられ提案書がまとめ上げられようとしている。この提案内容を広く住民に周知し、意見をくみ上げながら地域住民一体となり、新しいセンターに、いかに” いのち” を吹き込めるかが課題である		
	目 的	(課題の原因を解決する目的はなにか) 院内地区の住民は、歴史・文化・芸術を大事にし、その気風をブラッシュアップさせ、次世代の子供たちに継承できるよう、自分達自ら” わくわく・ドキドキ” するまちづくりを目指してきた。そして持続可能な「誇れる” そして” 選ばれる” いんない」を構築することを目的としたい。		
事業内容	対 象	・地域住民		
	内 容 (流れ)	(いつ、どこで、どの様な内容の事業を、どの様な方法で行うのか) 1. 院内銀山踊り継承事業（練習会）3回 : 6月上旬～9月下旬 ・「院内銀山まつり」、「フリーマーケット」での発表 1. 「うたごえ喫茶いんない」 : 7月下旬 ・市内の「歌声同好会」の演奏・指導による合唱 1. 秋田県花壇コンクール出展事業 : 8月上旬 1. 秋田の鉱山絵図パネル制作・展示会事業 : 8月下旬～9月中旬 ・院内銀山史跡保存顕彰会設立50周年記念協賛事業 1. 「電車でGO」児童との交流事業 : 10月上旬 ・奥羽線利用促進事業 1. 「いんない紅葉まつり：フリーマーケット」の開催 : 10月下旬 ・町内会の「地域ビジネス」支援 1. 「健康講座」～” もの忘れ” 症状とのつき合い方 ・秋田県立循環器・脳脊髄センター : 大田秀隆 先生 : 11月下旬 1. 先進地視察（商品開発といった地域ビジネスなど）（視察地：未定） : 2月下旬		
	目標と計画	目標	新視点からの院内再発見	目標の根拠 地域力のアップ
		目標	伝統芸能の体験	目標の根拠 地域力のアップ
		2年目	計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 鳥海町、羽後町の人形芝居や番楽など近隣の伝統芸能を若い世代は観たことがないのではないだろうか。それらの団体をお招きして小さなフェステバルを計画してみたい。
3年目		目標	芸術・文化の体験	
	計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 和太鼓の競演、ロック・フェステバル、ストリート・パフォーマンス等の若者の表現者の発現の場を提供したい。 パフォーマンス会場は、旧院内尋常高等小学校の前庭で開催したい。		
～5年目	目標	”健康な院内”の構築	目標の根拠 地域力のアップ	
	計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 院内地域づくり協議会では「わくわくカフェ」と銘打って「認知症」を正しく理解し、地域住民で支え合える関係を作るために開催している。専門の医師を講師としてお招きし、学習会を開催したい。		
規 制	(事業を行う上での規制はあるか、どのように対処していくのか) 特になし			

(裏面)

	期 間	内 容	担当者		
事業スケジュール	6月 上旬	～	9月 下旬	院内銀山踊り継承事業（練習会）3回	諸越幹子
	7月 下旬	～	7月 下旬	うたごえ喫茶「いんない」	高橋桃子
	8月 上旬	～	8月 上旬	秋田県花壇コンクール出展事業	畠山守司
	8月 下旬	～	9月 中旬	秋田の鉱山パネル製作・展示会事業	高岡 正
	10月 上旬	～	10月 上旬	「電車でGO」児童との交流事業	木村由美
	10月 下旬	～	10月 下旬	フリーマーケットの開催：町内会「地域ビジネス」支援	全 員
	11月 下旬	～	11月 下旬	「健康講座」”もの忘れ”症状との付き合い方	会田一男
	2月 下旬	～	2月 下旬	先進地視察：視察地未定	諸越幹子
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
月 旬	～	月 旬			
住民参加	<p>(事業に対し、どのように住民が参加できるか)</p> <p>院内地区は、地域自治組織を中心に当法人、若者集団「いんない未来塾」「院内児童クラブ」などの諸団体の協力体制が整っているのが特徴である。事業推進においてもポスター、チラシ等の企画・デザインの専門家もおり広報活動も含め、地域内の人材で対応できるほどで、地域住民への広がりも極めて迅速であり、住民参加の意識も高い。</p>				
事業のアピール点	<p>(地域の特性を活かした事業か、アイデアや着眼点のどこが優れているか)</p> <p>本年度の新規事業として、秋田県花壇コンクールの出店、地域の児童との交流事業・奥羽線の利用促進の啓蒙事業としての「電車でGO」や社会問題となっている「認知症」の専門医の講演会を通して、認知症は恥ずかしい、隠したいというマイナスのイメージを少しずつ和らげていけるよう、正しく理解し、支え合う「共生社会」を目指したい。</p>				

※記載欄の過不足は適宜調整してください。